

経営比較分析表（平成28年度決算）

岡山県美作市 美作市立大原病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	7	-	ド訓	救へ
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	看護配置	
28,733	6,642	第1種該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン(放射線)診療

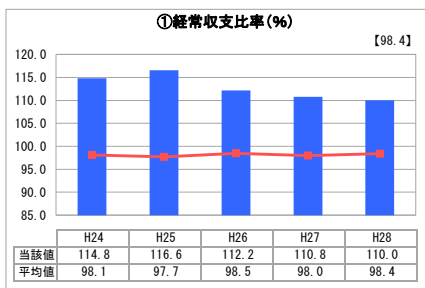
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
40	40	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	80
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
40	40	80

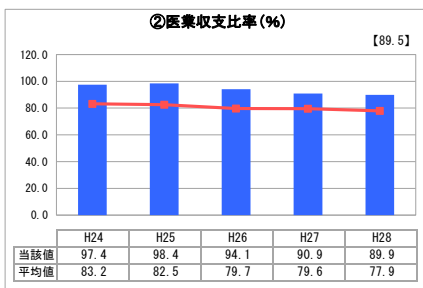
グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

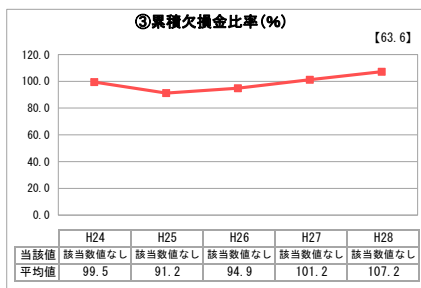
1. 経営の健全性・効率性



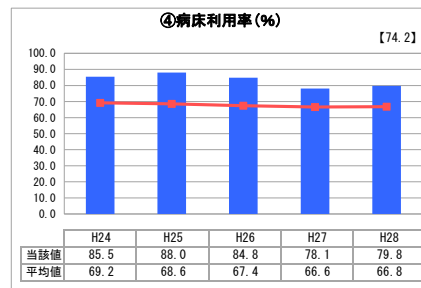
「経常損益」



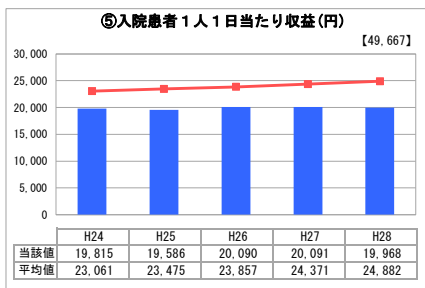
「医業損益」



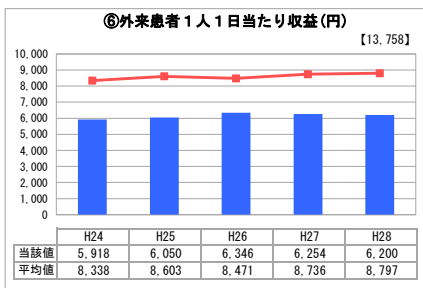
「累積欠損」



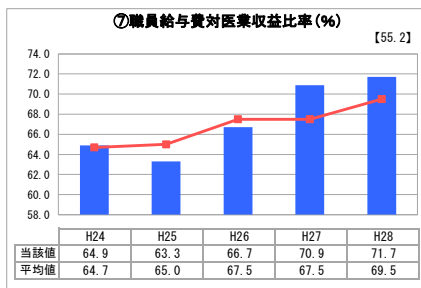
「施設の効率性」



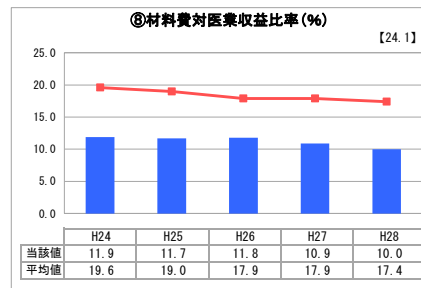
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

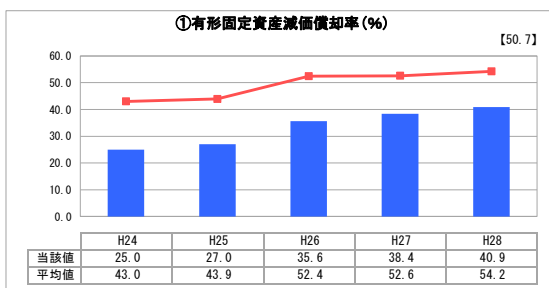


「費用の効率性①」

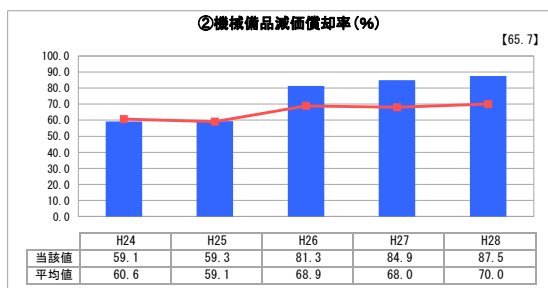


「費用の効率性②」

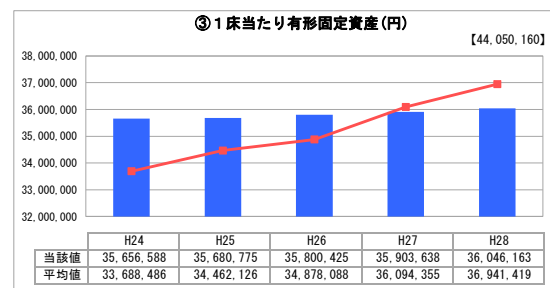
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

へき地医療拠点病院として、急性期医療のほか、患者の在宅復帰に向けた医療と介護の連携を担い、住民の安心安全な医療提供のため、救急告知病院として24時間の受入れ体制を構築している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率においては100%を上回っており、事業年度ごとに純利益があり、累積欠損金は無い。病床利用率は平均より高いが、一人当たりの単価は低い。地域医療にあっては、単価的には上げられないので、病床利用率を現状維持しての経営を計る。

2. 老朽化の状況について

平成17年に新築して以来13年が経過している。特に医療機械備品の老朽化度合いが高いが、毎事業年度において、耐用年数が経過したものから随時更新している。

全体総括

地域の医療ニーズが変化してきている中、人口減少、少子高齢化に対応するため、地域包括ケア病床として10床を届出し、病床利用率の向上を計ることにより、より一層の黒字化経営に努め、公立病院の使命を果たすべき経営健全化に努める。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。